

令和6年7月5日

人間・労使関係自主研究会 会員各位

【この案内にて会員以外の方も誘ってください】

代表幹事 伊丹匡哉

## 令和6年 夏季野外講座開催案内

中将姫と曼荼羅物語の里を訪ねて

～写経写仏体験と當麻曼荼羅絵解き説法～

猛暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

労使関係の前提となる「人間探究」の実践的研究として今年も当研究会恒例の野外講座を開催致します。今年度の野外講座は、中将姫伝説と當麻曼荼羅、極楽浄土への往生を再現する練供養で知られる奈良県 二上山山麓の當麻寺（たいまでら）において開催いたします。

暫し、日頃の喧騒を忘れて、自らのこころの在り方を振り返る良い機会かと思えます。

なお、特別にご家族等、同伴者のご参加もOKですので、皆様のご参加をお待ちしております。

記

開催日： 令和6年8月24日（土）

集合時間： 近鉄南大阪線 大阪阿部野橋駅 西改札口前 午前8時30分 または  
近鉄南大阪線 当麻寺駅 改札口前 午前9時40分

8時54分 大阪阿部野橋発 橿原神宮前行 準急乗車

9時32分 当麻寺駅到着

集合後 徒歩にて移動 約15分 午前10時前には当麻寺入山予定

会場： 真言宗 當麻寺 中之坊 および 當麻寺境内

奈良県葛城市當麻1263 中之坊 <http://www.taimadera.org/index.html>

TEL：0745-48-2001（9:00-17:00）

行程：① 10時～ 當麻曼荼羅絵解き説法 極楽浄土の光景を独特の節回しで説く一節があり、「絵解き節（えときぶし）」とも呼ばれ、五木寛之氏には「芸能の源流」と称されています。

② 10時30分～ 写経（般若心経）又は写仏体験

（阿弥陀如来・観音菩薩等 當麻曼荼羅オリジナル用紙） 1時間30分程度

休憩 境内拝観（1時間程度）

③ 13時～ 昼食会（精進料理のお弁当）

④ 當麻寺境内拝観後 15時頃 解散予定

参加費用：当会会員 3,500円 ※会費より一部補助有

会員のご家族、会員以外 4,500円

※写経又は写仏体験・絵解き説法・昼食代を含む（往復交通費、拝観料は含みません）

出欠回答：各会員は下記URL又はQRコードから回答・送信して下さい。

欠席の方は回答不要です。

会員以外の参加も同じURL等からお申し込み願います。

回答・申込 締切は 8月19日（月）

回答・申込フォーム <https://forms.gle/Q9aWvEf1nrXZ288AA>



台風接近等による中止は、前日20:00までにメールと自主研サイト <https://ningenroshi.org/> でお知らせします。

【問合せ】代表幹事 伊丹匡哉 070-5658-6199 [info@ningenroshi.org](mailto:info@ningenroshi.org)

企画担当監査役 神谷一郎 090-9043-5099

※参加取消など申込後の変更は必ず代表幹事 伊丹まで連絡して下さい。

## 當麻寺 ご案内



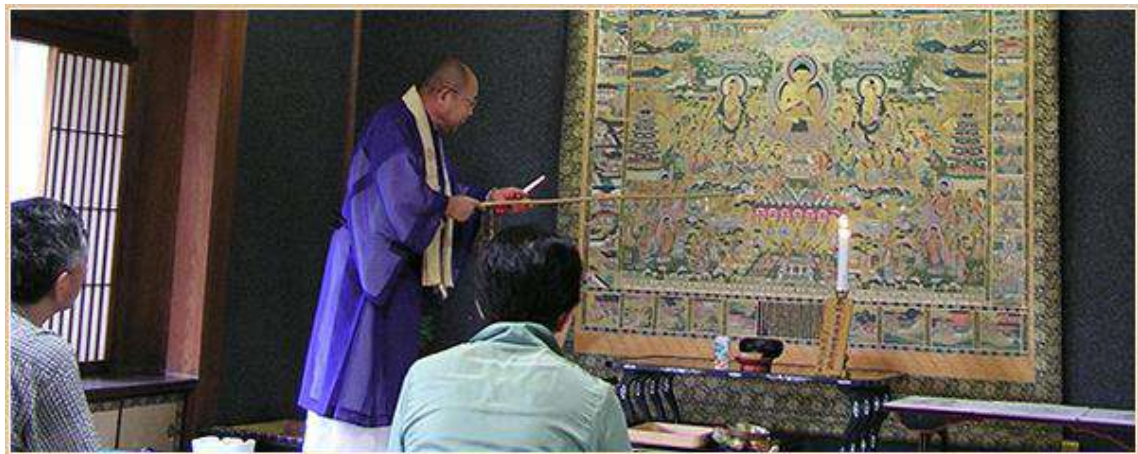
古来、大和の人々は二上山の向こうに極楽浄土を幻視してきた。  
その極楽への入り口、當麻寺。

「なも、阿弥陀ほとけ。あなたふと、阿弥陀ほとけ」

二上山に来迎した阿弥陀仏を見て、蓮の糸で「當麻曼荼羅」を織ったという中将姫の伝説。

そこから導かれる不思議な伽藍配置と、奇跡的に残された名宝の数々。多くの謎と魅力に導かれて、當麻寺の1300年に逢いに行く。

「JR 東海 うましうるわし奈良」(<http://nara.jr-central.co.jp/campaign/taimadera/>) より



當麻寺には古来より、「當麻曼荼羅」に描かれた内容を解説する「絵解き」が伝わっています。極楽浄土の光景を独特の節回しで説く一節があり、もとは曼荼羅堂にて行われておりましたが、現在は中之坊に伝承されています。

この中之坊に伝えられる一節は「絵解き節(えときぶし)」とも呼ばれ、五木寛之氏には「芸能の源流」と称されています。(※中之坊の絵解きは實秀長老または實昭院主によって修されます。)

(以下、當麻寺 中之坊 HP <http://www.taimadera.org/> ご参照)



「写経(しゃきょう)」と、仏さまのお(しゃぶつ)」は、最も簡単な仏道修行

お経を書き写す姿を描き写す「写仏」です。

当山では當麻曼荼羅の「写仏」を楽しんでいただけますが、同じように「写経」もしていただくことができます。

天平の昔、中将姫さまは、1000部の写経を成満され、その功德によって當麻寺へ導かれ、観音さまのお助けにより「當麻曼荼羅」を感得されたのです。

当山の写経会場は「昭和の天井絵」「平成の天井絵」で飾られる「写仏道場」です。文化勲章・前田青邨画伯の『飛鴨』をはじめ、現代画壇では上村淳之画伯、中島千波画伯といった有名一流画家が一人一枚ずつ奉納された絵画およそ150点で飾られています。中には南画の巨匠・直原玉青画伯や片岡鶴太郎氏による墨彩画も奉納されています。

このような貴重な作品を頭上に仰いで「写経」を行える環境は他に類を見ません。



胃腸の良薬として知られる陀羅尼助（だらにすけ）は、役行者（えんのぎょうじゃ・役小角／えんのおづぬ）により創製されました。

当麻の地は、そもそも役行者が練行の地として開いた土地で、役行者開山の塔頭中之坊には、役行者秘伝の陀羅尼助が伝えられ、小角自ら水を加持した井戸などが伝わっています。

当坊の「陀羅尼助」は、毎月1日の「不動護摩法」によって「陀羅尼（ダーラニー＝仏さまにお唱えする真言のこと）」の力を込めています。



當麻寺中之坊では、精進料理をあがっていただくことができます。お食事は、1500円・2000円・3000円・4000円・5000円（各税別）のうちからご希望のものをご指定ください。

また、会合や年忌法要などご利用になる場合、精進料理以外の会席料理もご用意可能ですので、お気軽にお問い合わせください。